

第4章

基本施策

学び・育ち

- 基本施策 1 生き抜く力を育む学校教育の推進 …………… 65
- 基本施策 2 安全・安心で快適に学べる教育環境の充実 …………… 68
- 基本施策 3 暮らしを豊かにする学習活動の支援 …………… 70
- 基本施策 4 地域による次世代人材の育成の促進 …………… 72
- 基本施策 5 まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進 …… 74

スポーツ

- 基本施策 6 スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進 …………… 76

歴史・文化

- 基本施策 7 歴史や文化財の継承と価値や魅力の発信 …………… 78
- 基本施策 8 文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進 …………… 80



1 生き抜く力を育む学校教育の推進

(1)めざす姿

(2)状態指標

豊田市が大好きな、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒が育っている。

指標	現状値	めざす方向
自分の住む地域が大好きだという児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：教科等に対する意識調査】	① 55.4% ② 27.4% (2017)	↑
全国学力・学習状況調査で、 全国の平均正答率と同等又は上回った調査数 ①小学生 (全4調査:国語A、国語B、算数A、算数B) ②中学生 (全4調査:国語A、国語B、数学A、数学B)	① 1 調査 ② 4 調査 (2017)	↑
学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	① 83.7% ② 78.4% (2017)	↑
全国体力・運動能力等調査における実技調査 (新体力テスト)の全国平均以上の種目数 (全8種目) ①小学生 ②中学生	① 0 種目 (男子) 1 種目 (女子) ② 4 種目 (男子) 2 種目 (女子) (2017)	↑

(3)施策の柱

①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進

こども園・幼稚園、小・中学校、高等学校とのつながりや地域とのつながりをより深めるために、人材の確保・育成や組織づくり等を推進し、子どもたちの学校や自分の住む地域・豊田市を愛する気持ちを育成します。

②確かな学力を育む教育の推進

様々な問題に積極的に対応し、解決する力を育成するため、基礎的な知識や技能を活用して、自ら考え、判断し、表現する授業づくりを進めます。

③豊かな人間性を育む教育の推進

自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などを育成するため、道徳教育や特別支援教育を充実させるとともに、いじめや不登校児童生徒に対応する相談・サポート体制強化を進めます。

④たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進

子どもたちの健やかな体を育てるために、学校における体育指導の充実や学校保健を通じた健康教育に取り組みます。

施策体系

分野	施策名	施策の柱
学び・育ち	1 生き抜く力を育む 学校教育の推進	①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進
		②確かな学力を育む教育の推進
		③豊かな人間性を育む教育の推進
		④たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進
	2 安全・安心で快適に 学べる教育環境の充実	①学校施設整備の推進
		②学校施設環境の充実
		③給食調理環境の整備
	3 暮らしを豊かにする 学習活動の支援	①市民の活躍を支援する学びの場の充実
		②図書資料を通じた出会いと交流の促進と課題解決の支援
		③子どもの読書活動の推進
	4 地域による次世代人材 の育成の促進	①小・中学生が主体的に活動できる機会の充実
		②高校生・大学生の社会参加活動の促進
		③自立に困難を抱える若者の支援
		④家庭教育力の向上
	5 まちへの誇りや 愛着につながる ものづくり学習の推進	①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実
②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実		
スポーツ	6 スポーツ資源を生か した生涯スポーツの推進	①スポーツを「する」機会の拡充
		②スポーツを楽しむ風土の醸成
		③スポーツを「支える」人材の育成
歴史・文化	7 歴史や文化財の継承 と価値や魅力の発信	①歴史を継承・発信する基盤・機会の充実
		②市民力を生かした博学連携・歴史継承の促進
		③歴史が息づく魅力的なまちづくりの推進
	8 文化芸術を生かした まちの魅力づくりの 推進	①文化芸術に触れる機会の充実
②文化芸術活動を担う人材の育成		
③文化施設の機能・価値の向上		

(4) 主な事業

事業名	事業概要	担当課
コミュニティ・スクール推進事業 (重点施策4-重点事業1)	中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみによる教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールの導入を推進	学校教育課
地域学校共働本部設置拡大事業 (重点施策4-重点事業2)	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織を設置・拡大	学校教育課
学び続ける教員の育成推進事業 (重点施策2-重点事業3)	教員人材育成プランに基づき、校内OJTや各種研修を実施。多忙化解消プランに基づく業務改善により教職員の多忙化を解消	学校教育課
園小中連携事業	学びのつながりを重視した園小連携による「新わくわく・いきいきプラン」の活用を推進。学区の特性を生かした小中連携を推進するモデルプランを作成	学校教育課
中高連携事業	市内の公立高校の特色ある取組や魅力をPRする「豊田市高等学校魅力発見フェスタ」を開催。中学生を対象にした高校教員の出前授業を実施	学校教育課
きめ細かな教育推進事業 (重点施策1-重点事業1)	豊田市独自の少人数学級と非常勤講師・補助員等の配置により、きめ細かな教育を推進	学校教育課
外国人児童生徒教育事業 (重点施策1-重点事業4)	外国人児童生徒の小・中学校への適応を進めるため、日本語指導や学習相談、支援等を実施	学校教育課
「主体的・対話的で深い学び」推進事業 (重点施策2-重点事業1)	「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりについて研究し、各学校での指導方法の工夫・改善を実施	学校教育課
ICT活用・整備推進事業 (重点施策2-重点事業2)	ICT機器を活用した「分かる・深まる授業づくり」を推進するための授業スタイルを改善及びICT機器の整備を推進	学校教育課

事業名	事業概要	担当課
英語教育の推進事業	新学習指導要領実施に伴う英語の教科化を見据え、授業改善への取組や教育課程の編成等、英語教育を推進	学校教育課
いじめ・不登校対策事業 (重点施策1-重点事業2)	いじめの防止や対応、不登校児童生徒の自立支援などに関する各種の対策事業を実施	学校教育課
特別支援教育の推進事業 (重点施策1-重点事業3)	身近な地域での特別支援教育に関する相談支援を推進するため、ブロックサポート体制を確立	学校教育課
貧困状態にある子どもへの支援事業	学校を窓口とした福祉関係機関との連携及び就学援助制度等による経済的な支援を推進	学校教育課
特色ある学校づくり推進事業	地域に開かれ地域に愛される学校となるよう、地域の文化や芸術に関わる活動、交流や勤労生産に関わる活動等を推進	学校教育課
道徳教育の推進事業	新学習指導要領実施に伴う道徳の教科化を見据え、授業改善への取組や教育課程の編成等、道徳教育を推進	学校教育課
子どもの体力向上推進事業	児童生徒の体力向上のため、体育指導の充実と「子どもの体力向上プログラム」の取組を推進	学校教育課
学校給食による食育事業	学校給食を活用し、食に関する理解と適切な判断力を養うための指導を実施	保健給食課
小児生活習慣病予防事業	児童生徒の生活習慣病を予防するため、学校健康診断を活用してハイリスク者を抽出し、2次検査や健康教育・相談を実施	保健給食課

2 安全・安心で快適に学べる教育環境の充実

(1)めざす姿

児童生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境が整っている。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
人口増加に伴い教室不足が発生する可能性のある学校数 (年度末時点)	11校 (2017)	↓
老朽化対策を必要とする学校数 (年度末時点)	56校 (2017)	↓
施設更新を必要とする給食センター数 (年度末時点)	2施設 (2017)	↓

(3)施策の柱

①学校施設整備の推進

児童生徒数の増加に対応するため、教室等の機能不足が生じないように学校の実情に応じた整備を進めます。

②学校施設環境の充実

安全・安心で快適な教育環境を提供するため、施設の老朽化への対応や、社会環境の変化に伴うニーズに対応した整備を進めます。

③給食調理環境の整備

子どもたちに安全・安心で、魅力ある給食を提供するため、衛生管理の徹底や食物アレルギー対応を始めとした給食内容の充実を図ります。

(4)主な事業

事業名	事業概要	担当課
校舎増築事業 (朝日丘中学校)	既設校舎を増改築し、生徒数増加に伴う教室不足に対応	学校づくり推進課
学校施設保全改修事業	老朽化が進む学校施設を保全改修し、安全・安心で快適な教育環境を確保	学校づくり推進課
学校トイレ再整備事業(第2期)	トイレの洋式化を推進し、快適な学校生活環境を確保	学校づくり推進課
学校空調設備設置事業	日常的に学習で使用する教室等のエアコン整備を推進し、安全・安心で快適な教育環境を確保	学校づくり推進課
北部給食センター改築整備事業	老朽化した北部給食センターと藤岡給食センターを統合し、北部給食センターの移転新築整備を実施	保健給食課

3 暮らしを豊かにする学習活動の支援

(1)めざす姿

市民が自ら楽しく学び、様々な活動が行われている。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
交流館の利用経験（3年以内） 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	31.5% (2016)	↑
中央図書館の年間延べ利用者数	822,562人 (2016)	↑
学校以外の読書頻度（週に1日以上） ①小学生 ②中学生 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	① 54.9% ② 39.3% (2016)	↑

(3)施策の柱

①市民の活躍を支援する学びの場の充実

市民の生涯にわたる学び、交流、活動の促進を図るため、多様な活動や多様な主体の参加が広がる交流館運営を進めます。

②図書資料を通じた出会いと交流の促進と課題解決の支援

図書資料を通じた出会いや交流の機会を増やすため、また市民や地域が抱える課題の解決を支援するために、図書館機能の充実を図ります。

③子どもの読書活動の推進*

言語活動を通じて、論理的思考力、豊かな情感、コミュニケーション力などを育成するため、子どもに豊かな読書環境と充実した読書機会を提供します。

*施策の柱③は、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項に基づく「豊田市子ども読書活動推進計画」として位置付けます。

(4)主な事業

事業名	事業概要	担当課
交流館運営事業	利用ルールの緩和や地域の特性に合った運営を進めるとともに、市民の活躍の機会をコーディネートする支援機能を強化	市民活躍支援課
中央図書館管理運営事業	豊田市中央図書館運営基本方針を踏まえた、効果的・効率的な図書館の管理運営を実施	図書館管理課
図書館システム事業	図書資料を市内全域で活用できるように、中央館と交流館図書室等をネットワーク化し、「どこでも借りられ、どこでも返却できる」サービスを提供	図書館管理課
図書資料デジタル化事業	保存・活用を目的とした図書資料（主に郷土資料）のデジタル化及び電子書籍の検討	図書館管理課
図書資料の充実と環境整備事業	身近に本のある環境を整え、多くの本に会えるようするため、施設における図書資料の購入や、学校や放課後児童クラブへの団体貸出等を実施	図書館管理課
図書資料の活用機会創出事業	本の楽しさと感動を伝えるとともに、本の活用能力を身に付ける機会を創出するため、ブックスタート、出前講座、啓発活動等を実施	図書館管理課
子どもと本をつなぐ人材育成支援事業	子どもと本をつなぐ人を増やすため、読書相談（レファレンス）の充実、学校図書館司書の配置、読み聞かせボランティアの育成等を実施	図書館管理課

4 地域による次世代人材の育成の促進

(1)めざす姿

地域や社会で活躍できる次世代の人材が育っている。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
地域の行事や活動（ボランティア活動、地域の祭り、ボーイ・ガールスカウトなど）に参加している割合 ①小学校低学年 ②小学校高学年 ③中学生 ④高校生 ⑤青少年（19～29歳） 【出典：豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査 豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査】	① 85.2% ② 85.1% ③ 74.5% ④ 34.4% ⑤ 21.1% (2013)	↑
外出頻度の少ない若者の割合 （「ふだんは家にいるが自分の趣味に関する行事の時だけ外出する」又は「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」又は「自室からは出るが、家からは出ない」又は「自室からほとんど出ない」） ※その状態になってから6か月以上に及ぶ人の割合 ①高校生 ②青少年（19～29歳） 【出典：豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査】	① 1.9% ② 4.6% (2013)	↓
家庭の教育力に満足している市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	26.6% (2016)	↑

(3)施策の柱

①小・中学生が主体的に活動できる機会の充実

子どもたちが自ら行動し、様々な課題を解決する力を育むため、地域における活動の場や挑戦する機会の充実を図ります。

②高校生・大学生の社会参加活動の促進

地域社会の担い手として高校生・大学生が成長するため、地域や社会との交流の機会や活動のきっかけづくりを行います。

③自立に困難を抱える若者の支援

自立に困難を抱える若者が就労や社会参加などを行うため、関係機関との連携による包括的な体制で自立に向けた支援を行います。

(4)主な事業

④家庭教育力の向上

親としての意識や能力が身に付く家庭教育支援の展開を図り、子育ての悩みを抱える家庭が孤立しないよう、地域ぐるみで子育て環境の向上を図ります。

事業名	事業概要	担当課
子どもの主体性を育む家庭・地域推進事業	子どもたちが自ら行動し、様々な課題を解決する力を育むため、家庭や地域と連携し、活動の場や挑戦する機会づくりを推進	次世代育成課
学生によるまちづくり提案事業	学生に地域の活動やイベント等の情報を発信し、地域や社会への参加を促進する企画提案型の事業を実施	次世代育成課
学生とハタラクをつなぐプロジェクト事業	学生に働くことの意義や社会で求められる能力の理解を深めるため、市内の企業等の経営者や社会人との交流の機会を提供	次世代育成課
若者サポートステーション事業	自立に困難を抱える若者が就労や社会参加等を行うため、関係機関による包括的な体制で自立に向けた支援を実施	次世代育成課
家庭教育支援事業 (重点施策4-重点事業3)	子育てに関する保護者への情報提供や子育ての仲間づくり・情報共有ができる場の提供等により家庭教育を支援	次世代育成課

5 まちへの誇りや愛着につながる ものづくり学習の推進

(1)めざす姿

子どもが系統的にものづくりや科学を学ぶ機会があり、市民がものづくり活動を支え、大切にしている。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
ものづくりに興味のある児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	① 79.4% ② 54.4% (2016)	↑
子どもを対象とした、ものづくりや科学の講座・イベントへの参加者数	45,852 人 (2016)	↑
子どものものづくり学習を支える企業・団体等の数 (年度末時点)	100 団体 (2016)	↑

(3)施策の柱

①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実

幼少期からものづくりや科学への興味・関心を高め、創造性や感受性を育むため、学校や身近な場所でのものづくり学習の機会の充実を図ります。

②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

小学校高学年から中学生・高校生の課題発見・解決力、創造力の向上や職業に対する意識を醸成するため、企業や大学、ものづくり団体等と連携した高度で実践的なものづくりや科学の学習機会の充実を図ります。

(4)主な事業

事業名	事業概要	担当課
ものづくり教育プログラム事業 (重点施策3-重点事業4)	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施	市民活躍支援課
とよたものづくりフェスタ事業	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催	市民活躍支援課
クルマづくり究めるプロジェクト事業	子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施	市民活躍支援課
匠の技に学ぶものづくりプロジェクト事業	和紙、鍛冶屋、竹細工といった豊田市らしいものづくりを職人から学ぶ講座を実施	市民活躍支援課
科学技術教育推進事業	主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援	市民活躍支援課

6 スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進

(1)めざす姿

様々な世代がライフスタイルに応じてスポーツを楽しんでいる。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
市民の週1日以上スポーツ実施率 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	54.1% (2016)	↑
過去1年間にスポーツを観戦した市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	33.4% (2016)	↑
過去1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	4.3% (2016)	↑
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	① 91.6% (男子) 86.1% (女子) ② 88.9% (男子) 80.1% (女子) (2017)	↑

(3)施策の柱

①スポーツを「する」機会の拡充

スポーツをするきっかけをつくるため、スポーツを行う場所を身近な地域に確保するとともに、子どもから高齢者まで様々な世代が気軽に参加できるスポーツ教室等の機会を提供します。

②スポーツを楽しむ風土の醸成

ラグビーワールドカップ2019™等のスポーツイベントを市民が一体感を持って楽しむことができるように、市内のスポーツチームや本市ゆかりのトップアスリートと身近に触れ合う機会の充実を図ります。

③スポーツを「支える」人材の育成

子どもの頃からスポーツに親しむ気持ちを育み、継続的にスポーツを楽しむ基盤をつくるため、企業・大学・体育協会等と連携して、生涯スポーツを支える人材の育成を推進します。

(4)主な事業

事業名	事業概要	担当課
スポーツ習慣促進事業 (重点施策4-重点事業4)	子どもの体力向上のための「元気っ子プログラム*」の推進と、中高齢者の健康保持増進のための教室等を開催。ウォーキング事業を拡充	スポーツ課
障がい者スポーツの推進事業	障がい者スポーツに対する理解促進や障がい者と健常者が一緒に楽しめる場をつくる人材を育成	スポーツ課
健康スポーツの普及事業	ウォーキングを中心とした健康スポーツ普及のための啓発活動やイベントを開催	スポーツ課
(仮称)松平地域体育館等整備事業	スポーツの振興や健康の増進に向け、多くの市民が気軽に利用できる体育館及び広場を整備	スポーツ課
(仮称)梅坪台運動広場整備事業	スポーツの振興や健康の増進に向け、多くの市民が気軽に利用できる運動広場を整備	スポーツ課
スポーツ施設保全改修事業	老朽化が進むスポーツ施設を保全改修し、安全・安心で快適なスポーツ環境を確保	スポーツ課
トップアスリート・スポーツチーム応援・活用事業 (重点施策3-重点事業2)	本市ゆかりのトップアスリートやスポーツチームを応援し、身近に触れ合う機会を充実させることで、一体感を持ってスポーツを楽しむ機運を醸成	スポーツ課
スポーツ指導者育成事業	企業・大学・体育協会等と連携し、専門的なスポーツ指導者を育成するための講座を開催	スポーツ課

*本計画におけるスポーツ分野は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項の規定による「豊田市生涯スポーツプラン（第3次）」に位置付け、本計画に基づく行動計画を別に策定します。

7 歴史や文化財の継承と価値や魅力の発信

(1)めざす姿

歴史や文化財の価値や魅力が広く市民に共有され、郷土愛が育まれている。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
主要文化財施設の総入館者数	130,770人 (2016)	↑
郷土の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市民の割合 【出典：市民意識調査】	44.2% (2016)	↑
住んでいる地域の歴史・文化財に興味のある児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	① 46.6% ② 33.9% (2016)	↑

(3)施策の柱

①歴史を継承・発信する基盤・機会の充実

多様な歴史や文化財を共有し、未来へ継承するため、歴史や文化財に触れ、価値や魅力を体感できる基盤や機会の充実を図ります。

②市民力を生かした博学連携・歴史継承の促進

次代を担う子どもたちに歴史や文化財を継承するため、市民や学校教育との連携を強化します。また、市民が歴史や文化財を自ら学び、市民や来訪者に伝える活動を促進します。

③歴史が息づく魅力的なまちづくりの推進

住民や来訪者が地域の歴史や文化財への愛着を高めるため、史跡や伝統的な町並み等の整備や魅力発信を推進します。

(4)主な事業

事業名	事業概要	担当課
歴史文化基本構想活用事業	地域の歴史と文化財を保護・活用していくためのマスタープランとして、歴史文化基本構想を策定し、市民との共働による価値発信を推進	文化財課
郷土資料館・近代の産業とくらし発見館・歌舞伎伝承館展覧会・講座開催事業	市民や来訪者が、文化財等の展示を通じて地域の歴史・文化の素晴らしさを知るための機会を創出	文化財課
「新修豊田市史」編さん事業	郷土の歴史をまとめ後世に伝えるために、市史を刊行	文化財課
博物館整備事業	歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・交流、調査・研究、収蔵を推進する博物館を整備	文化財課
郷土学習推進事業 (重点施策3-重点事業3)	郷土の歴史や文化財を子どもたちに伝えるために、市民や学校との連携を強化。市民が自ら学び、市民や来訪者に伝える活動を促進	文化財課
郷土芸能継承事業	郷土芸能を次世代へと継承し、その素晴らしさを広く共有するため、団体の活動継続を支援し、発表等による価値発信の機会を創出	文化財課
旧龍性院庭園・松平氏遺跡整備事業	国名勝旧龍性院庭園及び国史跡松平氏遺跡を保護・活用していくための計画策定と整備を推進	文化財課
足助歴史的町並み保存活用事業	市民や来訪者が、足助の町並みの魅力と価値を知る機会や、町並み保存についての理解を深める機会を創出	文化財課
足助歴史的町並み保存整備事業	重要伝統的建造物群保存地区*の中心的な建物である旧鈴木家住宅の修理・復元を行い、歴史的町並みを活用する中核拠点を整備	文化財課

8 文化芸術を生かした まちの魅力づくりの推進

(1)めざす姿

様々な文化芸術活動が活発に行われ、多くの市民が文化芸術に親しんでいる。

(2)状態指標

指標	現状値	めざす方向
文化芸術に興味のある市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	58.5% (2016)	↑
文化芸術の鑑賞・見学を行っている市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	72.8% (2016)	↑
文化芸術活動を行っている市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	28.5% (2016)	↑
文化芸術に興味のある児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	① 54.6% ② 45.2% (2016)	↑

(3)施策の柱

①文化芸術に触れる機会の充実

市民が文化芸術に触れる機会の充実を図るため、鑑賞・見学・創作・学習等の視点から様々な文化芸術活動を推進します。

②文化芸術活動を担う人材の育成

文化芸術の関心を高めたり、出会うきっかけを増やすため、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラム等の文化芸術に係るイベントの機会を捉え、活動を支える人材を育成します。

③文化施設の機能・価値の向上

市民が文化芸術に触れる基盤となる文化施設の機能や価値を高めるため、時代に即した施設のサービス向上、効率化を図ります。

(4)主な事業

事業名	事業概要	担当課
あいちトリエンナーレ推進事業	国内最大級の国際芸術祭である「あいちトリエンナーレ 2019」を豊田市で開催。その開催機運を高めるために、現代芸術作品展等を行う「あいちトリエンナーレ地域展開事業」を実施	文化振興課
東京キャラバン事業	東京オリンピック・パラリンピック公認文化プログラムの一つとして、地域の文化と、演劇・ダンス・音楽等を融合させた新しい表現の創造事業を豊田市で実施	文化振興課
美術館展覧会開催事業	近代から現代、最新の美術動向を紹介する展覧会等をバランスよく開催し、市民が美術に触れ、学び、交流する場や機会を提供	美術館
美術館教育普及活動事業	市民が美術に触れる楽しさや意味を見出し、作家や作品、美術館活動に対する理解を深めることができる環境づくりや事業を開催	美術館
民芸館展覧会・講座開催事業	市民や来訪者が、民芸の展示や陶芸等の体験講座を通じて、手仕事の美しさや素晴らしさを知るための機会を創出	文化財課
民芸の森活用事業	市民や来訪者が名誉市民・故本多静雄氏の旧邸の森や建物、氏のコレクション等を生かした、民芸を始め様々な文化活動を行う機会を創出	文化財課
市民によるアートプロジェクト推進事業 (重点施策3-重点事業1)	市民が運営する文化芸術に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築	文化振興課
舞台芸術人材育成活用・創造事業	舞台芸術に係る人材のさらなる育成や活動機会の拡大、創造的要素を取り入れた事業を実施	文化振興課
財団との連携による文化推進事業	文化継承を目的とした「おいでんアート体験フェア」やアートによる地域の魅力創出を図る「農村舞台アートプロジェクト」など、(公財)豊田市文化振興財団と連携し、文化芸術に親しむ環境づくりを推進	文化振興課

事業名	事業概要	担当課
民芸館・民芸の森の運営を担う人材育成事業	民芸館の講座スタッフの育成や民芸の森での市民共働の運営を行う市民や団体の育成を推進	文化財課
市民文化会館施設機能長寿命化・拡充事業	施設設備や機能の長寿命化対策、バリアフリー対策及びニーズに合わせた機能の見直し等の整備を実施	文化振興課
コンサートホール施設機能長寿命化・拡充事業	音響機器、空調設備、電気設備の修繕及び長寿命化対策を実施し、安全・快適に芸術を楽しめる環境を整備	文化振興課
美術館施設機能長寿命化・拡充事業	施設の長寿命化及び利用者の安全性確保と利便性向上のため、大規模修繕、レイアウト変更、駐車場整備等を実施	美術館

※文化芸術分野は、本計画との整合を図りながら、分野別計画として「第2次豊田市文化芸術振興計画」を策定します。